

May 16, 2019

【前日の為替概況】ドル円、低調な米4月小売売上高で109.16円、自動車関税延期で109.69円

15日のニューヨーク外国為替市場でドル円は横ばい。終値は109.60円と前営業日NY終値(109.61円)と比べて1銭程度のドル安水準だった。4月米小売売上高や4月米鉱工業生産指数などさえない指標が相次ぐと円買い・ドル売りが先行し、109.16円まで下落した。しかし、米政府高官の話として「トランプ大統領は輸入車に対する関税発動を最長6カ月延期する考え」との報道が伝わると、投資家のリスク回避姿勢が後退し円売り・ドル買いが優勢となり、米国株価が持ち直したことも相場の支援材料となり、109.69円付近まで値を上げた。ムニューシン米財務長官が「中国との貿易関係改善に向け真剣に協議している」と述べたことも相場を下支えした。アジア時間に付けた高値109.70円を上抜けることは出来なかった。

ユーロドルもほぼ横ばい。終値は1.1201ドルと前営業日NY終値(1.1204ドル)と比べて0.0003ドル程度のユーロ安水準だった。ユーロ圏景気減速やイタリア財政問題などの懸念でユーロ売り・ドル買いが先行し1.1178ドルまで下落した。ただ、米国の自動車関税延期見通しで、自動車・部品輸入を巡る欧米間の対立が激化すると懸念が後退するとユーロ買い戻しが優勢となり、1.1225ドルまで反発した。

サルビーニ伊副首相は、「EUの財政規律は欧州を飢餓状態に陥れている」とし、改正の必要があると訴えた。前日には「雇用促進のため、EU財政規律違反である財政赤字の対GDP比3%超えの可能性」を示唆している。

ユーロ円は小反落。終値は122.76円と前営業日NY終値(122.81円)と比べて5銭程度のユーロ安水準となった。22時前に一時122.08円と日通し安値を付けたが、米輸入車関税延期についての報道をきっかけに買い戻しが強まり123.09円まで値を上げた。ユーロドルにつれた動きとなった。

ポンドドルは軟調。英国のEU離脱を巡る先行き不透明感は根強く、一時1.2827ドルと2月15日以来3カ月ぶりの安値を更新した。ポンド円も一時140.21円と1月17日以来約4カ月ぶりの安値を付けた。

英首相官邸は14日、6月上旬にEU離脱協定案を議会に提出する方針を示したものの、メイ首相と野党・労働党の協議は難航しており、「議会で承認を得られない」との悲観的な見方が強まっている。メイ首相への辞任圧力も再び高まっている。

【本日の東京為替見通し】ドル円、米中通商戦争、為替報告書、地政学リスク懸念で伸び悩みか

本日の東京市場のドル円は、米中通商戦争や米為替政策報告書、朝鮮半島や中東の地政学リスクなどへの警戒感から伸び悩み展開が予想される。

ドル円のテクニカル分析では、ダブル・トップ(112.14円・112.40円)を形成後、窓(111.07円・110.96円)を空けて、ネック・ライン109.71円を下回ったことで、下値目標値107.02円(=109.71円-(112.40円-109.71円))を目指す下落トレンドを形成しており、本日もネック・ラインが攻防の分岐点となる。

本日は、4月豪雇用統計(予想:失業率5.1%、新規雇用者数+1.4万人)が発表されるが、予想外の数字を受けた豪ドル円の動向が、ドル円に波及する可能性に要警戒となる。

ドル買い材料としては、4月に開催された日米首脳会談で、本格的な日米通商交渉が、7月の参議院選挙後に先送りされたこと、自動車関税発動が最長6カ月延期される可能性(米政府高官筋)などが挙げられる。

ドル売り材料としては、米中通商戦争への警戒感、中国による米国債売却の可能性、米財務省の為替報告書での円安けん制、などが挙げられる。米中通商戦争に関しては、トランプ米大統領が、華為技術(ファーウェイ)製品の使用を禁止する大統領令に署名したことで、6月末のG20首脳会議での米中首脳会談までの合意の可能性が低下している。為替報告書に関しては、昨年4月のような「円は過去20年の平均よりも約25%安い」「2013年以降の円安は日銀の量的金融緩和が要因」などの円安けん制に要警戒となる。

朝鮮半島や中東の地政学リスクへの警戒感も、リスク回避の円買い要因となる。北朝鮮は2017年以來となる短距離ミサイルの発射実験を再開しており、イランによる中東の米軍基地への攻撃のを受け、トランプ米政権が空母打撃群をホルムズ海峡に派遣し、在イラク公館職員に退避命令を出したことで、緊迫感が高まりつつある。

【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

<国内>

- 08:50 ◇ 対外対内証券売買契約等の状況（週次・報告機関ベース）
- 08:50 ◇ 4月企業物価指数（予想：前月比 0.2%／前年比 1.1%）

<海外>

- 10:30 ◎ 4月豪雇用統計（予想：失業率 5.1%／新規雇用者数 1.40 万人）
- 16:30 ◎ プラート欧州中央銀行（ECB）専務理事、講演
- 18:00 ◇ 3月ユーロ圏貿易収支（季調済、予想：194 ユーロの黒字）
ユーロ圏貿易収支（季調前）
- 21:30 ◇ 3月対カナダ証券投資
- 21:30 ◇ 3月カナダ製造業出荷（予想：前月比 1.1%）
- 21:30 ◎ 4月米住宅着工件数（予想：120.5 万件、前月比 6.2%）
◎ 建設許可件数（予想：129.0 万件、前月比 0.2%）
- 21:30 ◎ 前週分の米新規失業保険申請件数／失業保険継続受給者数（予想：22 万件／168.0 万人）
- 21:30 ◎ 5月米フィラデルフィア連銀製造業景気指数（予想：9.0）
- 21:30 ◎ デギンドス欧州中央銀行（ECB）副総裁、講演
- 17日 01:05 ◎ カシュカリ米ミネアポリス連銀総裁、講演
- 17日 01:15 ◎ ブレイナード米連邦準備理事会（FRB）理事、講演
- 17日 02:30 ◎ ハスケル英中銀金融政策委員会（MPC）委員、講演
- 17日 03:00 ◎ クーレ ECB 理事、講演
- 17日 03:00 ◎ メキシコ中銀、政策金利発表（予想：8.25%で据え置き）
- ユーロ圏財務相会合（ブリュッセル）

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

※指標などの発表予定・時刻は予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

【前日までの要人発言】

15日 07:50 デイリー米サンフランシスコ連銀総裁

「その他先進国に比べ米国の労働参加率が低い点が疑問の一つ」

「金融危機や少子高齢化の状況下で米経済の回復や拡大が停滞しているようには見えない」

15日 11:04 黒田日銀総裁

「国債引き受けで財政ファイナンスを行うとハイパーインフレになる」

「モメンタムが失われれば、適切な追加緩和を行う」

「追加緩和を行う場合、効果とコストを比較考慮し、適切な方向を検討する」

「追加緩和では、金利や資産買入など様々な手段がある」

「財政や通貨の信認が失われて、為替が下落した場合の輸入物価の上昇は受け入れられない」

「原油価格暴騰で輸入物価が上昇した場合、物価安定目標を一切超えないという政策運営は適切でない」

15日 11:30 麻生財務相

「為替に関して、米財務省は、米通商代表部ほど激しく言うてこない」

15日 14:23 サルビーニ伊副首相・同盟党首

「EU 財政規律は時代遅れ」

15日 16:37 中国外務省

「貿易戦争は米国や中国の利益にならない」

15日 22:57 ムニューシン米財務長官

「中国との貿易関係改善に向け真剣に協議している」

15日 23:16 関係者

「トランプ米大統領は自動車輸入に対する関税発動を延期する計画」

16日 03:02 バーキン米リッチモンド連銀総裁

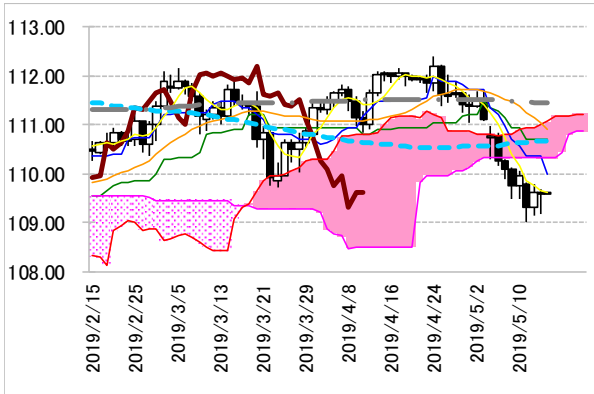
「利下げも利上げも根拠は見当たらない」

「金利について辛抱強さが必要」

「目標を下回っているインフレは一時的な要因の可能性」

※時間は日本時間

〔日足一目均衡表分析〕

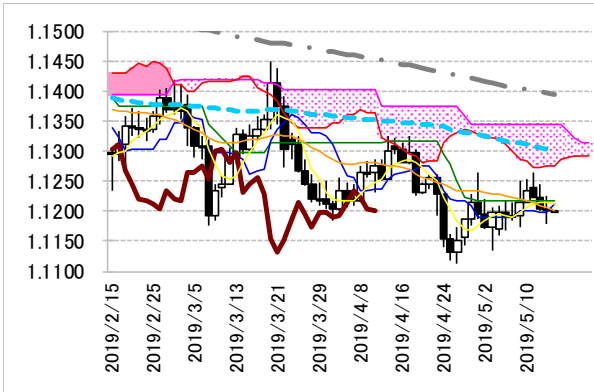


<ドル円＝一目・雲の下限を抵抗に戻り売りスタンス>

寄引同事線引け。一目・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、雲を下回っていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯中。ダブルトップ（112.14円・112.40円）形成後の窓（111.07円・110.96円）空けて、下値目標値107.02円を目指す下落トレンドを形成している。

本日は、ネックライン109.71円を念頭に置き、一目・雲の下限を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	110.32(日足一目均衡表・雲の下限)
前日終値	109.60
サポート1	108.50(1/31 安値)
サポート2	107.77(1/10 安値)

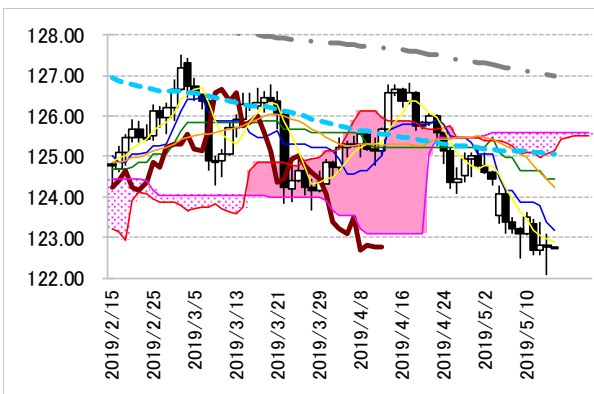


<ユーロドル＝一目・雲の下限を抵抗に戻り売りスタンス>

小陰線引け。一目・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、雲の下で推移していることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯中。高値圏でのカブセ線、3手連続陰線で下落トレンドの可能性が高まりつつある。

本日は、一目・雲の下限を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	1.1274(日足一目均衡表・雲の下限)
前日終値	1.1201
サポート1	1.1135(5/3 安値)

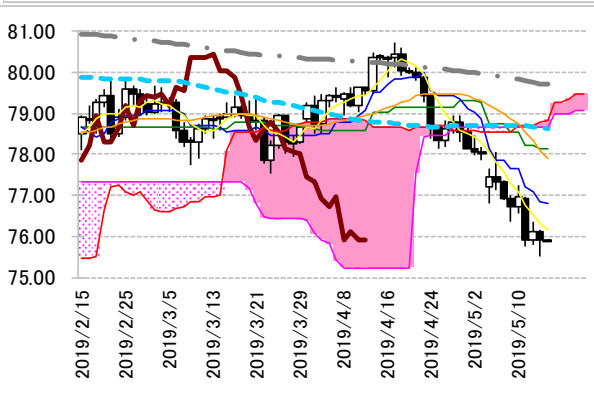


<ユーロ円＝一目・転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

小陰線引け。一目・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、雲の下で推移していることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯している。

本日は、一目・転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	123.19(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	122.76
サポート1	122.08(5/15 安値)



<豪ドル円＝一目・転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

陽線引け。一目・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、雲の下で推移していることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯している。

本日は、一目・転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	76.79(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	75.93
サポート1	75.24(1/4 安値)

